

能代市総合計画市民協働会議

第5回運営グループ会議

日 時 平成21年10月2日（金）

午後9時5分

場 所 能代山本広域交流センター 第1研修室

出席者 柴田委員長、安部副委員長

越中委員、田村(重)委員、中村委員

櫻庭(富)委員、見上委員

渡部委員、根本委員

中橋アドバイザー、安食アドバイザー

概 要

1 まちづくり評価（素案）の検討状況について

評価の検討状況について、意見交換を行いました。

○評価が数値に左右されやすいとの意見がありました。市民協働会議としては数値のみにこだわるのではなく、数値の意味を考えながら、評価の理由を付すことができるように検討していくことを確認しました。

○指標の妥当性や項目等に関して意見が出た場合には、計画策定時に目標指標を設定した経緯も踏まえて、その内容を提案書に盛り込むことを確認しました。

○雇用に関する指標のように、見方によって順調とも不調ともとれるものについては、「指標順調・課題深刻」とか「横ばい※（＝重要）」のように評価の表し方を工夫すること、こうした重要なテーマには時間をかけるなどメリハリをつけることを確認しました。

また、各班から以下の資料の提供について、事務局に依頼がありました。

A班～No.11 耐用年数を超える学校数、No.12 耐震基準を満たす学校数

→内訳がわかる資料

B班～No.13 からだが健康だと思う市民の割合、No.14 心が健康だと思う市民の割合

→市民意識調査の年齢別の割合、参考として国保の加入人数・うち有病率

D班～No.41 有効求人倍率、No.42 新規高卒者の就職内定率 → 内訳がわかる資料

E班～No.58 環境自治体スタンダード（LAS-E）の合格ステージ

→環境自治体スタンダード（LAS-E）の概要・基準・対象・調査項目等

F班～No.66 能代警察署管内の犯罪件数 → 犯罪の種類の内訳がわかる資料

2 次回以降の進め方について

次回会議の時間配分については、今回と同様とすることを確認しました。

また、予定どおりに、次回でいったん評価の検討を終え、次の二回で具体的な提案の検討を行い、第10回会議で市長へ評価書と提案書を提出することを確認しました。

なお、提案の検討の中で評価の修正が生じる場合もあり得ることから、次回は仮評価という形でまとめ、次の提案の協議の中でも、必要に応じて評価の全体協議の時間を設けることを確認しました。

3 その他